

## 令和6年度 福岡市一時預かり事業補助対象事業者選考に係る協議会 議事要旨

【日 時】 令和6年11月22日(金) 9:40~12:20

【場 所】 アクロス福岡 605 会議室

【協議内容】 事業者ヒアリング、事業者の評価・意見交換等

【出席者】 委員5名 事務局4名

### 【質疑応答】

#### 応募事業者A

委 員) 一時預かりのお子様を預かるときに特に気を付けていることは。

事業者) 子どもの表情を見ている。昔に比べて泣かない子が多いのが気になっている。

委 員) 泣かない子が多いというのは、親子関係の育ちの影響も考えられるか。

事業者) 保護者が忙しい状況もあるため、子どもの可愛いところに目を向けられるよう読み聞かせや積み木で遊ぶ姿を見せるようにしている。

委 員) トイレが一つしかないが、おまるを利用する際や汚れた場合はどうするのか。

事業者) 洗面所からトイレの途中のコーナーでおまるを使っている。トイレには職員が必ずついていき、汚さないように気を付けている。

委 員) 財務状況について、令和4年から令和6年3月までの状況をみると、債務超過であるが事業に影響はないか。

事業者) ここ数年は補助基準額が上がっており、令和5年頃から収支は改善している。返済もあと数年で完了する見込み。自己資金投入しなくても良い状態になるように努力していく。

委 員) 順調に必要な採用人数は確保できているか。令和6年度の研修受講状況は。

事業者) 必要な人数は確保できている。職員7名で運営しており、比較的高齢の職員が多い。令和6年度も順番に研修を受講しており、アレルギー関連の講座は必ず受講している。

委 員) ネットの口コミで、お迎えが17時過ぎたが臨機応変に延長してもらったとの記事を見た。延長する、しないの区切りはあるのか。

事業者) 仕事などで迎えの時間に間に合わないことがあると理解しており、どうしてもという時は対応している。

#### 応募事業者B

委 員) 月極の園児について、5歳児も多く、子ども同士のトラブルもあると思うが、どう対応しているのか。

事業者) 子どもたちの中でグループがあり、それぞれのグループに保育士がつくことでトラブルを未然に防ぐようにしている。それでも喧嘩になった場合は、どちらかの子どもにも偏らないように2人の職員で対応している。

委 員) 年間利用延べ人数が毎年増えているが、要因は何か。

事業者) 知名度が上がってきたことが大きい。利用者から口コミで広がることも。HP での広報のほか、東区役所の電光掲示板で広告を出している。

委員) 運営における課題は何か。

事業者) お電話いただいた当日に預けたいという声があるが、対応できる職員がいないので断ることもある。

委員) 一時預かり事業のスタッフの数は足りているか。

事業者) 足りている。1日に平均4名～6名の預かりがあり、3人の専任スタッフで対応している。足りてないことはないが、今、職員の募集はかけている。

委員) 防災マニュアルを見ると、救護班に看護職の方がいるようだが、普段はどちらにしているのか。

事業者) 月極保育専任として配置しており、同じ敷地内にいる。

委員) 地域との交流はどうされているのか。

事業者) 私自身が、5年前から小学校のPTA会長をやっており、地域とのつながりがある。小学校の文化祭に参加して、子どもたちが発表する場を設けている。お散歩の時に地域の方が協力してくれたり、いも畑も貸し出してくれることも。あたたかく見守ってくれている。

委員) 発達障がいや外国籍の方もいるがすべての子どもを受け入れているのか。

事業者) 基本的にはすべて受け入れている。

委員) 気になる子や保護者の方がいる場合はどう対応しているか。

事業者) 20年以上のベテラン職員が3人おり、保護者の方にアドバイスをするなどしている。お迎え、お預かりの時間に必ず職員1名がつき、保護者としっかりコミュニケーションをとっている。前日の体調面も聞くことで、保護者の方も安心される。一人一人に合わせて対応を考えていくことを大事にしている。

## 応募事業者C

委員) 地域と交流していると資料にあるが、具体的にどんな取り組みをされているのか。

事業者) 公民館の方やシニアのボランティアに来ていただき紙芝居を見せていただくなど。フリースクールの子もたちと合同でハロウィンのイベントを開催した。

委員) 人員配置計画について、兼任の場合の時間配分はどうしているか。

事業者) 預かる子どもにより職員配置を考えている。前日にシフトを組み替えることもある。

委員) 専任で常勤調理の方がいるようだが、食事を提供することが多いのか。

事業者) 給食を食べて帰る子が多い。給食を楽しみに来てくれる子も多い。

委員) 財務状況の年間資金計画の飲食費について、収入より支出が60万くらい多い。利用者から実費を全額取る仕組みにしているのか。収支が円滑にいくのか、急に廃止としないか心配である。

事業者) 一時預かりは補助金事業なので赤字補填であると理解はしているが、7～8割しか補填されず、毎年自己資金を投入している。そうならないためにも、補助額の改善を

要望している。

委員) 保護者から苦情はあるか。受けた場合はどういう対応をしているか。

事業者) 苦情はないが、予約が取れない、なかなか入れないという声はある。スタッフの確保の問題もあり受け入れできない旨説明をしている。登録はするが利用できない人はいる。

委員) おむつの使い放題のサービスについて、費用が安いと感じるが負担では無いか。

事業者) そんなに負担は感じていない。おむつに名前を書くのも大変なので、できる限り保護者の負担を減らしたいと思っている。

委員) 気になる子や保護者がいた際は、どのように対応しているのか。

事業者) 何を基準にして気になる子と判断するのか疑問をもっており、加配はするが特別扱いはしない。スタッフが先入観を持たないように、最低限気を付けるべきところだけ伝えるようにしている。

委員) 子どもの虐待に関して気になることがあった場合、どう対応するのか。

事業者) もし、虐待が疑われることがあればスタッフ全員に共有の上、責任者が児童相談所などに相談する。

## 応募事業者D

委員) 一時預かりで子どもを預かるときに心がけていることは。

事業者) 愛情をもって接することを大事にしている。

委員) 職員配置計画について、採用予定の分は目途はたっているか。

事業者) 現在面接中で、来年4月に入職できるように調整中。信頼できる人から紹介してもらっている。

委員) 運営面の課題は何か。課題にどう対応してきたか。

事業者) 職員の確保が課題。愛情を持って接してくれる職員が配置できるように、常に職員の募集を行っている。また、まだ言葉が出てない子もいる中で、保育者からの愛情をどう伝えていくかが課題。職員連携のため、月1回職員会議をして、各々の子どもとの関わり方を共有している。発達面で気になる子どもがいても、月齢が浅いため診断を受けない場合が多い。そういう子がパニックを起こしたときの対応が課題。

委員) 経営的な課題はあるか。

事業者) 2園を運営しているが、地域によって保護者の特色も違い、求められていることが違う。職員と連携取りながらうまく経営していきたい。補助金をいただいているので安定した収入があり、黒字で経営できている。

委員) 一時預かりについて、幼稚園や保育園と配慮するところの違いをどう捉えているか。

事業者) 幼稚園や保育園は子どもたちがメインだが、一時預かりでは保護者も視野に入れている。産後うつや、幼いお子様も多いので発達段階での悩みを抱える方もいる。保護者のケアも視野に入れた上でお預かりしている。

委員) 体軸ファシリテーターの資格はどのように取ったのか。保育に生かしているか。

事業者) オンラインで資格を取得した。子どもの土台作りのため実施している。日頃の保育に取り入れており、入職する職員にも、受講料は園が負担し、全員に体軸ファシリテーターの資格を取ってもらうようにしている。

## 応募事業者E

委員) 独自で一時預かりを実施しているとのことだが、実施にあたって心掛けていることはあるか。

事業者) 最初に面談を行い、保護者の思っている子どもの現状、例えば偏食などを聞き取っている。最初は2時間など短時間の預かりで子どもを観察することから始める。子どもの順応性も見ており、泣き続ける子は外に連れて行くなどしている。

委員) 職員配置計画について、採用の面で苦労はあるか。

事業者) 多めに採用しているので問題はない。来年1月から3名新しく入る予定。

委員) 商業施設内の保育施設なので、商業施設内は様々な人が利用していると思う。安全面や防犯対策はどうしているか。館内の散歩で気を付けていることはあるか。

事業者) 防犯面では、入口に鍵をかけインターホンを設置している。事前に顔写真登録をしている方以外はドアを開けないようにしているほか、もう1人すぐ動ける職員を配置している。館内を散歩時は、お散歩カーを使うほか、保育士1人が子ども2人の手を繋いでいる。

委員) 在園年数がない職員もいるが、スキルアップについてはどう考えているか。

事業者) 認可外保育施設向けのオンライン研修は極力参加するようにしている。AEDなど安全面に関わる研修の受講は必須としている。

委員) 経営側の配慮は何かあるか。

事業者) 経験が長いスタッフを中心に運営し、配置基準より1名多く職員を配置している。利用者が多く、一時預かりの登録はストップしている。早いときは月末募集の1日で枠が埋まる。

委員) 子どもへの関わり方や保護者への対応について職員同士で共有する時間はあるか。

事業者) 朝と昼で実施している。連絡帳をICT化し余った時間で保護者への接し方などを話す。ワンフロアタイプなので、基本的に職員がすぐ集まれる環境にある。特別に打ち合わせの時間を設けず、チャットや空いた時間を利用している。

委員) 事業を継続する中での課題は。

事業者) 現在は独自に一時預かりを実施しているが、補助事業者として選定していただくことで保護者に安価に保育を提供していきたい。保育士のスキルアップ面では、更にオンデマンドを活用し、会社として保育士へのサポートをしたい。

委員) 産後うつ、虐待が疑われる場合はどんな対応をするのか。

事業者) チャットで簡単な相談ができるようにしている、会っていない時間でもチャットで交流できるため、会った時に相談いただきやすい。虐待に関しては区役所と連携して対応する。

**【意見交換・特記事項】**

**応募事業者A**

- ・ 実績を有しており、これまでの経験を一時預かり事業に活かしていく姿勢がある。
- ・ 一時預かり事業では様々な子どもや保護者と関わるため、積極的に研修を受講するなど知識を吸収し、事業に活かしていくことを期待したい。

**応募事業者B**

- ・ 地域との連携が密にできており、小学校との関わりがあることも評価できる。
- ・ 一時預かり事業では様々な子どもや保護者と関わるため、積極的に研修を受講するなど知識を吸収し、事業に活かしていくことを期待したい。

**応募事業者C**

- ・ 実績を有しており、これまでの経験を一時預かり事業に活かしていく姿勢がある。
- ・ 一時預かり事業では様々な子どもや保護者と関わるため、全ての職員が積極的に研修を受講するなど知識を吸収し、事業に活かしていくことを期待したい。

**応募事業者D**

- ・ 職員間での情報共有のため会議の実施や、資格の取得など知識の吸収に積極的な姿勢が評価できる。
- ・ 防犯面・安全面について、しっかりと考えられている。その内容のとおり実施されることを期待したい。

**応募事業者E**

- ・ 設備面は安全に配慮されており、利便性が高く多くの利用が期待される。
- ・ 保育の経験年数が浅い職員が多いため、様々な分野で知識を吸収し、引き続き研鑽に励むことが望ましい。